

番号	事業名	区民の意見									参加者の意見 満足度等	予算 H28予算 (事業費)	方向性	事業全体の方向性 考え方	予算案の 方向性	
		一般区民の意見														
		モニター(認知度)		モニター(方向性)			つなげ隊(参考)									
知ってる	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小	知ってる	知らない	満足度等								
「みんなの『思い』が区政に反映されているまち」に向けて																
1	区政会議運営										70%	371	⇒	区政会議の運営については、貴重な意見聴取・交換の場であることから継続する。予算案については、実績に合わせ、会議実施回数を3回/年から2回/年への減を検討する。	↘	
2	区民モニター										—	1,231	⇒	区民モニター制度は、多様な区民の意見やニーズを的確かつ着実に把握するものであり、区の施策・事業に反映させるために必要であることから、継続する。予算案については、よりの確な統計値を求めるとともに、対象者数を増加する。	↗	
3	あなたの声をつなげ隊										—	214	⇒	区役所に意見要望を寄せる機会のない区民(サイレント・マジョリティ)と直接対話し、表面化しにくい多様な区民の意見やニーズを的確かつ着実に把握するものであり、区の施策・事業に反映させるために必要なことから、継続する。	—	
4	区広報紙の発行										—	14,541	⇒	事業認知度が高く、リニューアル後、肯定的な意見が多く寄せられている状況である。広報媒体として必要であるため、関心度を上げる改善に取り組みながら、継続する。	—	
5	広報板等その他の広報										—	1,081	⇒	(広報板) 掲出内容の認知、関心の程度に関わらず、区民に直接訴求できる重要な広報手段の一つであるため、継続する。(区HP、SNSを活用した情報発信等) ホームページやSNSなど複数の広報ツールを併用することが有効であるため、継続する。	—	
「未来を担う人材が育成されているまち ～日本の文教「都市」の実現～」に向けて																
6	グローバル人材育成事業 【英語による即興型ディベート事業】	15%	85%	24%	30%	54%	11%	25%	74%	93%	3,000	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は、「拡大」+「継続」は60%を下回るものの、早期の英語教育の必要が高まるなか、大阪市では平成29年度から小学校全学年で英語学習の機会を設ける予定であることから、利用しやすいよう講座内容を見直すとともに、人気の高い英語体験活動の開催回数の増加を図ったうえで、継続する。	—		
7	イノベーション人材育成事業 【インターンシップ事業】	30%	70%	21%	43%	64%	6%	27%	72%	100%	1,572	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上であるが、募集枠に対して応募者が下回る状況となっている。しからながら、子に参加させたいと考える区民は多く、青少年へのキャリア教育が重要であるため、「起業」に焦点をあてた施設の見学やプログラムの導入など事業内容の拡充を図ったうえで、継続する。予算案については、民間への委託から職員の執行に変更することで減。	↘		
8	レジェンド・イン・ハイスクール事業	9%	90%	14%	39%	53%	9%	18%	81%	99%	513	✕	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は、「拡大」+「継続」は60%を下回るため、区事業としては一旦終了。今後は、校長経営戦略支援予算の事業として、学校の個々のニーズを踏まえ、他のスポーツや文化系クラブの指導もできるような事業として再構築し実施する。	↓		
9	天王寺区ジュニアクラブ	21%	78%	17%	43%	60%	4%	28%	72%	100%	331	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる「満足度」調査結果 肯定的意見が60%以上のため、継続する。	—		
10	成人の日記念のつどい										—	235	⇒	成人の日記念のつどいは、青少年指導員や地域の方々の協力を得て、多くの新成人の参加のもと実施してきている。地域とともに地域の子どもたちを新成人として送り出す節目であることから、継続する。	—	
11	青少年指導員活動										—	697	⇒	地域社会と密接した活動を行っている青少年指導員との連携により、青少年の健全育成と非行の防止のために、継続する。	—	
12	子育てスタート応援事業	24%	73%	17%	42%	59%	6%	58%	42%	89%	12,725	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は概ね60%に達しており、教育投資のきっかけづくりになるため、サービス内容の拡充等に取り組みつつ、継続する。	—		
13	子育て情報アプリ「ぎゅっと!」	16%	81%	8%	44%	52%	11%	65%	34%	63%	1,462	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果は、「拡大」+「継続」は60%を下回るものの、子育て世代が多い区の地域特性に鑑み、子育て情報の提供は非常に重要であるため、アプリの特徴を活かし継続する。予算案については、機能強化を済ませたものとし、経常経費を計上。	↘		
14	子育て情報博覧会事業	6%	90%	10%	43%	53%	8%	23%	77%	94%	237	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は60%を下回るものの、子育て世代が多い区の地域特性に鑑み、子育て情報の提供は非常に重要であり、情報収集の場、子育て世帯の交流の場として活用できるため、継続する。予算案については、事業内容を見直し、講師謝礼を減とする。	↘		
15	子育て支援室相談事業 【子育てナビゲーション(子育て情報誌等)】										—	242	⇒	ワンストップ窓口としての子育て支援室については、子育て世代が多い区の地域特性に鑑み、子育て相談や情報提供の充実など養育者を支援するため、継続する。予算案としては、サービスの拡充を図るため、2階にフロアマネージャーを導入する。	↗	
16	子育て愛あいフェスティバル	21%	75%	9%	46%	55%	6%	43%	55%	73%	233	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は60%を下回るものの、親子参加型の交流の場の提供と地域ぐるみの子育て支援を実施するため、継続する。	—		
17	乳幼児発達相談体制強化事業	17%	80%	11%	48%	59%	2%	29%	71%	—	2,714	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は概ね60%に達しており、専門的な相談員による早期発見及び支援は重要であるため、継続する。	—		
18	発達障がいサポート事業	18%	79%	13%	46%	59%	2%	27%	73%	—	2,933	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は概ね60%に達しており、学校側からの発達障がい者生徒への支援要請は大きいと見られ、継続する。	—		
「命を守る政策」がしっかりと進められているまちに向けて																
19	独居高齢者等見守りサポーター事業	34%	65%	22%	45%	67%	5%	40%	60%	—	5,853	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上であり、参加者(利用者)の安心につながる事業であるため、継続する。予算案については、報奨金と委託料の実績への見直しを行う。	↘		
20	高齢者福祉月間事業										—	11	⇒	「老人の日記念百歳高齢者に対する、お祝い状及び記念品贈呈要綱」に基づき、内閣総理大臣からの祝い状等の伝達の依頼があるため、継続する。	—	
21	天王寺区愛あいふれあいまつり										—	294	✕	区民まつりなど他の事業を活用して、福祉の情報発信や高齢者の社会参加、多世代交流などの場を設けることができるため、廃止する。	↓	
22	地域福祉アクションプラン推進支援事業										—	91	⇒	独居高齢者の孤独死、児童虐待、障がい者の社会参加について地域の代表者・福祉施設・障がい者施設・学校関係者が一緒に問題解決に向けて実践するための場としてサポートが必要であるため、継続する。	—	

事業全体の方向性・・・事業の内容を表すもの
 予算案の方向性・・・予算案への工夫を表すもの(対前年度)
 ①一について・・・区独自シーリング(Δ1.9%以下)までの削減、当然増減(計画性のあるもの、予算移管など)は必要・当然であるため矢印に影響を与えない。
 ②下向き矢印・・・予算減について適用(Δ2.0%以上)。但し、①の当然減かどうかは積算根拠から個別に判断している。
 ③上向き矢印・・・予算増について適用。但し、①の当然増かどうかは積算根拠から個別に判断している。

番号	事業名	区民の意見								参加者の意見 満足度等	予算 H28予算 (事業費)	方向性	事業全体の方向性 考え方	予算案の 方向性
		一般区民の意見		モニター(方向性)				つなげ隊(参考)						
		モニター(認知度) 知ってる	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小	知ってる	知らない					
23	歯の健康展									96%	47	⇒	参加者の満足度が高く、歯の健康の保持・維持に役立つと評価されている。また、健康意識の高揚や健康づくりの推進といった普及啓発事業の一環として取り組んでいくことは必要であるため、継続する。	—
24	みんなの健康展									94%	58	⇒	参加者の満足度が高く、健康の保持・維持に役立つと評価されている。また、健康意識の高揚や健康づくりの推進といった普及啓発事業の一環として取り組んでいくことは必要であるため、継続する。	—
25	がん検診周知事業（広報紙での周知等）	56%	41%	14%	58%	72%	2%	57%	43%	—	274	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上である。がん検診受診の啓発・周知は、早期発見・治療に繋がり、ひいては医療費の削減ならびに健康寿命の延伸に貢献することが可能なことから、継続する。予算案については、周知の強化を図るため、ポスター・チラシの印刷経費を計上する。	↗
26	下寺町地域の交通手段確保事業									34%	1,400	⇒	真に必要な福祉的交通手段として事業を継続する。予算案については、タクシー券給付金の利用実績減による減を見込む。	↘
27	「いきいき百歳体操」拠点立ち上げ支援事業									—	0	○	ももてん体操に加え、つなげ隊の聴取で要望のあった介護予防効果が実証されている「いきいき百歳体操」の拠点づくりを29年度から支援する。予算案については、立ち上げ支援の単年度費用。	↑
より多くの人に「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求など														
28	地域資源との新たなつながりを活かした防災事業									—	0	○	地域資源との新たなつながりを広げ、それぞれの持つ強みを活かして、防災力の向上を目的として実施する（ローリング・ストック、寺社の協力により一時避難場所の拡充、災害時協力企業・事業所登録制度）。予算案については、災害用備蓄品等の費用。	↑
29	家具転倒防止器具取付啓発事業									—	99	⇒	自助の備えとして有効といわれる家具転倒防止器具を促進できるよう、区民全体に向け啓発する必要があるため、継続する。	—
30	災害時避難所整備事業	33%	62%	19%	44%	63%	2%	53%	47%	—	1,383	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上であり、市民の声に応え、大規模災害発生に備えて備蓄物資を充実させることは、安全・安心のまちづくりに資することとなるため、継続する。	—
31	災害対策情報発信（広報紙での発信）									—	274	⇒	防災リテラシーの普及を図るための自助・共助の取組の一環として、広く区民に周知を図ることが必要であるため、広報紙の活用を継続する。	—
32	区民巻き込みオペレーション（出前講座）	21%	74%	13%	46%	59%	5%	34%	65%	98%	343	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は概ね60%に達しており、受講者から「もっと広めてほしい」、「皆が知る必要がある」といった意見がある。多くの方に受講して頂くことが防災リテラシー向上に資するため、継続する。予算案については、区防災ハンドブックの増刷による増。	↗
33	地域別防災計画の作成支援について	28%	67%	14%	47%	61%	3%	37%	63%	—	1,829	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上であり、地域毎の防災計画の作成と、その全戸配付を3カ年計画で実施するため、継続する。予算案については、印刷経費を実績に合わせ減。	↘
34	災害時避難所開設・運営訓練									93%	98	⇒	自主的な防災訓練の実施を地域防災計画へ反映することで、災害発生時の即応体制の整備に通じるため、自助・共助の取組の一環として、継続する。	—
35	地域防災リーダー育成									90%	1,170	⇒	地域での自助・共助活動の担い手として災害救助青年部（防災リーダー）の知識習得や訓練が必要であるため、継続する。	—
36	職員訓練									—	65	⇒	職員の資質の向上を図ることは、市民の生命・財産を守るためにも有効と考えられるため、継続する。予算案については、消耗品を実績に合わせ減。	↘
子どもの防犯等、安全・安心なまちづくり など														
37	子ども安全指導員									93%	2,669	⇒	利用者アンケートによる「満足度」は高く、また、公立小学校・幼稚園・保育所の巡回警備は重要と考えられ、子どもの安全安心を確保するため、継続する。	—
38	子どもの防犯に向けたまちづくり事業	42%	53%	33%	36%	69%	1%	51%	49%	100%	3,767	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上であり、防犯カメラの設置については、区民から更なる増設を望む声が多く、犯罪の抑止に効果があると考えられることから、継続する。	—
39	自転車利用適正化事業	41%	55%	30%	35%	65%	6%	44%	56%	98%	3,667	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上であり、駅周辺の放置自転車は、通行や災害時の救助活動の妨げとなるため、地域・関係局との協働、連携しつつ、継続する。	—
40	交通安全啓発事業									78%	208	⇒	つなげ隊の意見聴取で、交通安全の啓発を求める声があり、警察と連携した「自転車マナー出前講座」を子育て世帯に特化したかたちで実施することが有効と考えられるため、継続する。予算案については、啓発チラシの作成増を見込む。	↗
41	地域安全パトロール事業	63%	34%	24%	48%	72%	2%	70%	30%	100%	683	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上であるため、継続する。	—
42	空家等対策推進事業									—	0	⇒	特定空家等の是正に向けた取組みを行い、防犯・防災の観点から課題を検証するとともに、地域の活性化につなげる。	—
歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまちに向けて														
43	天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業	29%	65%	9%	42%	51%	10%	62%	38%	-	830	⇒	・区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%を下回ったものの、「上町台地周遊マップ」については、「幸村ゆかりの地を散策するのに役立つ」といったご意見も多く、地域の主体的なプロモーションをさらに着実に推進するため、継続する。 ・周辺区と連携した取り組みを検討する。	—

事業全体の方向性・・・事業の内容を表すもの

予算案の方向性・・・予算案への工夫を表すもの（対前年度）

- ①一について・・・区独自シーリング（△1.9%以下）までの削減、当然増減（計画性のあるもの、予算移管など）は必要・当然であるため矢印に影響を与えない。
- ②下向き矢印・・・予算減について適用（△2.0%以上）。但し、①の当然減かどうかは積算根拠から個別に判断している。
- ③上向き矢印・・・予算増について適用。但し、①の当然増かどうかは積算根拠から個別に判断している。

番号	事業名	区民の意見									参加者の意見 満足度等	予算 H28予算 (事業費)	方向性	事業全体の方向性 考え方	予算案の 方向性
		一般区民の意見		モニター(方向性)			つなげ隊(参考)								
		モニター(認知度) 知ってる	知らない	拡大	継続	拡大+継続	縮小	知ってる	知らない						
44	吹奏楽フェスティバル	31%	64%	7%	50%	57%	6%	37%	63%	89%	866	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は概ね60%に達しており、来場者アンケートでは、80%以上の方が今後も開催を希望し、文化振興の一環となると考えられるため、継続する。予算案については、会場設置にかかる委託料を実績に合わせ減。	↘	
大きな公共を担う活力ある地域社会づくり															
45	地域活動協議会への財政的支援	35%	60%	7%	45%	52%	9%	53%	47%	91%	16,599	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%を下回ったものの、地域活動協議会の活動を支援することで、身近な地域課題への対応、自律的な地域のまちづくりの推進が期待できるため、継続する。	—	
46	新たな地域コミュニティ支援事業 (中間支援組織の運営)									60%	13,869	⇒	地域活動協議会の自律的運営に向け、会計処理などの様々な事務、認知度の向上や新たな担い手の獲得につながる広報支援など、現段階では中間支援組織による丁寧な支援が必要不可欠であるため、継続する。予算案については、業務内容を精査し人件費・物件費を減。	↘	
47	区民まつり	77%	20%					94%	6%	74%	5,132	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が60%以上のため、継続する。予算案については、ポスター等の印刷経費の見直しによる減。	↘	
48	区民文化のつどい	37%	58%					34%	66%	71%	473	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が60%以上のため、継続する。	—	
49	区民コンサート	35%	62%	9%	56%	65%	6%	39%	61%	93%	631	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が60%以上のため、継続する。予算案については、プログラムの印刷単価の見直しなどを図り減。	↘	
50	スポーツフェスタ	25%	71%					36%	64%	70%	390	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が60%以上のため、継続する。	—	
51	子ども育成を通じたコミュニティ振興	15%	82%					28%	72%	81%	745	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上、参加者(利用者)アンケートによる肯定的意見が60%以上のため、継続する。	—	
52	区民ギャラリー運営									100%	24	⇒	団体等に発表の場を提供することで、制作意欲の向上や新規加入者の獲得も見込まれ、区民が参加する文化・芸術活動の促進にもつながるため、継続する。予算案については、連絡用郵送料を見直し減。	↘	
53	緑化講習会	21%	73%	10%	43%	53%	9%	38%	62%	74%	507	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%を下回ったものの、ボランティアグループへの参加者の加入があるなど、まちの緑化に資すると考えられるため、継続する。	—	
54	種から育てる地域の花づくり事業	22%	73%	12%	47%	59%	5%	40%	60%	—	217	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」は概ね60%に達しており、また、自分たちの手で種から花を育て、その花を地域の皆さんの目に触れる場所に植えることを通じて、事業目的である花と緑あふれる美しいまちづくりに貢献しているため、継続する。	—	
55	校庭等の芝生化事業									—	309	⇒	地域での維持管理を行う必要があるため、継続する。	—	
56	天王寺区地域公園 協働パートナー事業									—	1,854	⇒	地域コミュニティの推進と、公園の安定的な維持管理を両立するため、継続する。	—	
57	生涯学習推進事業	42%	53%	9%	54%	63%	3%	53%	47%	99%	1,102	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上であること、また、生涯にわたっての学習に加え、学びを通じた地域のコミュニティづくりに貢献するため、継続する。予算案については、講座回数見直しによる減。	↘	
58	P T A・社会教育関係団体対象学習会助成									91%	39	⇒	生涯学習として、学びを通じた地域のコミュニティづくりに貢献するため、継続する。予算案については、消耗品、通信運搬費を皆減。	↘	
59	学校体育施設開放事業	36%	59%	11%	51%	62%	2%	53%	47%	—	1,667	⇒	区民モニターによる「事業の方向性」調査結果 「拡大」+「継続」が60%以上である。また、スポーツのための利用に供することで、どなたでも身体の健康を図ることができるため、継続する。	—	
60	人権啓発推進事業									—	77	⇒	平成21年2月に「大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～」が策定され、本市として、さまざまな取組みを継続的かつ体系的に推進する必要があるため、継続する。	—	
施設の管理運営、事務経費等															
61	区庁舎設備維持点検費									67%	20,638	⇒	来庁者及び職員が、区役所庁舎を安心・安全・快適に利用できるようにするのは、行政の基本的責務である。また、来庁者の満足度をできるだけ高めるよう、取組みを行う。	—	
62	区庁舎光熱水費									—	22,980	⇒	区庁舎の快適性を維持する必要があるため、継続する。なお、LED化の推進等に取り組み、経費の節減に努める。	↘	
63	区民センター管理運営									70%	32,086	⇒	区民活動の拠点として活発に利用(利用率71.2%)され、コミュニティ活動の振興などにもつながっている施設であることから、引き続き指定管理者による運営を継続する。なお、予算案については、要望の高いトイレの全面リニューアルを見込む。	↗	
64	庁舎管理及び運営経費									—	34,806	⇒	区役所業務を適切に維持・運営していくために物品調達等は必要であり、継続する。なお、できるだけ安価に調達するなど、節減に努める。	—	
65	職員研修									89%	395	⇒	・職員が地域の特性や住民ニーズに対応した施策を自ら企画し、実施する力を養い、発揮する必要があるため、継続する。 ・来庁者等が快適に利用いただくため、窓口サービスと利便性の向上が必要であり、継続する。予算案については、実績値採用による減。	↘	

事業全体の方向性・・・事業の内容を表すもの
 予算案の方向性・・・予算案への工夫を表すもの(対前年度)
 ①一について・・・区独自シーリング(Δ1.9%以下)までの削減、当然増減(計画性のあるもの、予算移管など)は必要・当然であるため矢印に影響を与えない。
 ②下向き矢印・・・予算減について適用(Δ2.0%以上)。但し、①の当然減かどうかは積算根拠から個別に判断している。
 ③上向き矢印・・・予算増について適用。但し、①の当然増かどうかは積算根拠から個別に判断している。